

チェックテスト 解答

8章 各論：社会的行動障害への介入

1 社会的行動とは (p.240)

①

集団内で他者の意図を読み取り，人間関係を把握して，協調して「うまくやっていく」こと。

②

自分と関係する他者の心理や行動の理解（例：声に怒りが感じられる。なぜ怒っているのか。なぜこの行動をとったのか），自分を取り巻く社会のしくみや規則の理解（例：なぜ盗んではいけないのか）をする認知機能。

2 社会的行動障害の特徴 (p.243)

①

対人技能拙劣・脱抑制・欲求や感情コントロールの不良・思考の柔軟性欠如（固執性）・発動性の低下など，円滑な社会生活を妨げる行動表出。

②

○

本人は気付いていないことが多いが，家族や周囲の人間は多大な迷惑を被っていることが多く，結果的に人間関係を悪化させてしまい，社会参加に支障をきたす。

3 社会的行動障害の評価 (p.251)

①

- 1) 患者と家族双方からの情報収集で問題となる行動変化，家族状況を把握する，
- 2) 評価表を使用して，本人と家族の視点の

乖離を確認する

②

- 1) できることを探す，
- 2) 気付きの程度を把握する，
- 3) ストレスにさらされている家族を支える

4 社会的行動障害への介入の実際 (p.258)

①

- 1) 本人の気付きの程度，
 - 2) 介入の優先順位をつける，
 - 3) 家族へのサポートを含む
- ②
- 1) 環境調整（物理的・人的），
 - 2) 認知行動療法的アプローチ，
 - 3) 全人的認知リハビリテーション，
 - 4) 社会技能訓練（SST），
 - 5) 発動性を促すアプローチ，
 - 6) 良好な行動を引き出すための介入と支援（PBIS） など

③

- 1) 教育的アプローチ，
- 2) 経験的訓練，
- 3) 家族への訓練と教育